

令和5年度 保育士自己評価結果公表シート

3歳以上児保育士用

みらい保育園

R5.12実施

No.	チェック項目	おおむね実践している	実践しようと心掛けている	努力が必要
1	園の保育方針を意識して保育していますか。	60%	40%	0%
2	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	100%	0%	0%
3	個人情報の保護に関するマニュアルに基づき、子どもやその家庭についての情報を、漏らすことがないようにしていますか。	100%	0%	0%
4	0歳から小学校入学までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育していますか。	60%	40%	0%
5	子ども一人ひとりの特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した援助を行うよう努めているか。	60%	40%	0%
6	季節感や伝統行事など取り入れたり、子どもの意欲を誘う環境構成を工夫したりしていますか。	80%	20%	0%
7	主体的な活動を促し、一人一人が意欲を持って遊べる援助を心がけていますか。	60%	40%	0%
8	子ども一人ひとりを受け止めて、気持ちに寄り添い、支えていますか。	80%	20%	0%
9	子どもをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見に努めていますか。	60%	40%	0%
10	食事を「楽しく・おいしく」味わえるように工夫し、食事に興味をもてるようにしていますか。	80%	20%	0%
11	偏食を直そうと、無理に食べさせようとしたり、残さず食べることを無理強いしたりせず、個々に合わせた量を配膳していますか。	100%	0%	0%
12	人との関わりを通して思いやりの心を育むことに努めている。	80%	20%	0%
13	自己を表現する力や、相手の話を聞く姿勢がもてるよう、それぞれの子どもの立場や気持ちをくみ取った仲立ちをしていますか。	60%	40%	0%
14	一人ひとりの興味や発達に応じた取り組みをして、子どもたちが一緒に関わりあう喜びを味わう場や機会を用意できていますか。	60%	40%	0%
15	自分で考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げる体験を通して達成感を味わえるように工夫している。	60%	40%	0%
16	子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。	60%	40%	0%

17	声の大きさに気をつけ、分かりやすく、肯定的な言葉づかいでゆっくり話すようにしていますか。	60%	40%	0%
18	園内での話し合いの中で、積極的に議論することにより、障がい児への理解を深めるよう努力していますか。	60%	40%	0%
19	みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。	80%	20%	0%
20	身体測定や内科健診等の結果から発育・発達状況を把握し、それを保護者や職員に伝え、日常の保育に生かしていますか。	60%	40%	0%
21	食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指示のもとに切な対応をしていますか。	100%	0%	0%
22	保育室内外の安全点検を、毎日していますか。	0%	100%	0%
23	地震や火災等の非常災害時や不審者侵入等の非常時に備え、訓練に積極的に参加したり、マニュアルを繰り返し読み、何をしなければならないか理解していますか。	60%	40%	0%
24	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたいようになるように、話しかけるよう心がけていますか。	60%	40%	0%
25	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	100%	0%	0%
26	園長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、質問をしたり意見を言ったりできますか。	100%	0%	0%
27	職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言し、自分の意見と違う結論が出た時も、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。	60%	40%	0%
28	クラスの教材や備品を、責任をもって管理していますか。また、自分のクラス以外の教材・教具などを、自らすすんで整えることができますか。	20%	80%	0%
29	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つける機会をもっていますか。	60%	40%	0%
30	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	100%	0%	0%

(結果を受けて)

- ・非常災害時や非常時について、マニュアルの読み直しの徹底や全職員の動きを確認し、具体例をあげてシュミレーションを行っていく。
- ・保育室内外の安全点検や備品の管理を徹底するとともに、遊具・用具などの構成を整え、子どもが主体的に活動に取り組めるような環境を整えていく。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、丁寧な言葉かけができているか、再確認する。
- ・子どもの特性を理解する為、研修に参加したり職員会議等で検討をしたりするなど、共通の意識をもち保育を行っていく。